

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「軽い財布」

最近、すっかり財布が寂しくなってきました。と、いうのも小銭を使う機会が少なくなってきたため、財布の中が以前よりスッキリしているのです。理由は、というと電子マネー。スイカ、パスモ、ナノコなどが財布に入っていれば、電車に乗るときもお店でジュースを買う時もピッとかざすだけ。細かいおつりで財布が膨らむことも少なくなりました。

東海道・山陽新幹線（東京―博多間）では、スイカやパスモで乗車できる新サービスがスタートするそうです。支払用のクレジットカードの登録が必要らしいですが、在来線からぱっと新幹線へ乗れるというのは、とても便利です。

また、スマートフォン向けの決済アプリは、世界的に急ピッチで進んでいるといえます。中国のある地域では、自転車をレンタルして移動後、好きなところで乗り捨てるサービスがあります。乗った距離や時間に応じて費用を支払うのですが、支払い方法は「自分のスマホ」。車の場合は、駐車場を探し駐車料金を払うのもスマホ。インドでは最高額紙幣を廃止し、キャッシュレス化を推進しているというのには驚きました。

「現金取引」が根強い日本ではどうでしょうか。海外ほど急速にキャッシュレス化が進まないと言われてはいますが、使ってみるとやはり便利です。提供側にとっては、導入のコスト、手数料などマイナス面もあります。簡単に踏み出せない部分もありますが、自分が便利と感じるのなら、自社のお客さんも同様に感じているかもしれません。

会社の経費の支払いも現金が主流となっている会社が多いと思いますが、細かい現金の精算は労力が必要で時間もかかります。最近では、法人向けのクレジットカードを利用する会社も多く、

業務が簡素化され、経費の使い道を明瞭化することができるというメリットもあるそうです。

一昔前は、電車で外出するとき、乗車区間の料金を確認し、券売機に並び切符を購入しました。高速道路では、現金で料金を支払いますから、料金所では渋滞になりやすい。そんな時代から、決済に便利で時間や手間がかからない「デジタル化マネー」への移行はどんどん進みそうです。自分の仕事と置き換えた時、いままでにはなかったモノやサービスが出現したことにより、お客様の手間が省けたり、付加価値付けられるようになり、サービスが向上したということがあると思います。今後お客様にはスピードや利便性を求められると思いますが、それに対応できるよう、まずは無理の無い出来るところを見つけて対応していくのが良いと思います。

「現金大好き日本人」と世界からは言われているそうです。日本は治安が良く、昔から売る人と買う人とが顔をつきあわせ現金のやりとりをするのが主流だったからかもしれませんね。代金を受取る方法が変わっても、商品や仕事の対価にお金をもらうということに全く変わりはありません。決済が自動化されていっても、お客様の顔をちゃんとみて感謝の言葉を伝えることが最も大切なことです。「はい、決済はこちらで」だけのお店には行きたくありませんから。

ご案内

ホームページの運営で
気になることはありませんか？

- ・スマホ対応って？
- ・文章と一緒に考えてほしい
- ・写真やテキストを変えたい
- ・情報を更新したい
- ・ページを増やしたい（減らしたい）
- ・採用ページを作りたい… etc

お気軽にお問合せください。

TEL:042-349-3535

(担当：田島まで)



■ラップニュース読者の皆様へ。
ラップニュース バックナンバーは
ホームページからご覧いただけます。

<http://www.raptokyo.co.jp/>

※アンケートがありますのでよろしかったら、ご意見をお聞かせください。